

編集 後記

電子情報通信学会誌 別冊『通信の「仕事』』の企画立案に携わった委員たちからのコメントを掲載します。

日々の暮らしに当たり前となった通信サービスは、多くの技術者による地道な保守業務や創造的研究活動など幅広い仕事に支えられています。多種多様な業務のほんの一面ではありますが「通信の仕事」の様子を垣間見て興味を持ち、御自身の進む道の灯になってもらえば幸いです。
(菊間一宏)

この企画は若手の先生の発案から作られたもので、御覧になった若い方々が通信の仕事に就き、その中で自分の道を歩み作っていく上での助けになると思います。更にその先の「通信の仕事」はどう変わって行くのでしょうか?
(豊田雅宏)

「通信」は日本語ではいさか無機的に感じますが、英語ではcommunicationです。通信の仕事は、人と人との間の会話、交流、刺激を促進し、人としての豊かな生き方の実現を後押しする可能性を持っています。微力ながらその実現に貢献していきたいと思います。
(西本研悟)

この企画を通じて、これまでに携わってきた通信に関連する仕事を振り返ることができ、その幅広さを再認識することができました。読者、特に学生の皆様には、その多様さの片鱗を感じて頂き、独自の「通信の仕事」を創造する一助になればと願います。
(高橋清隆)

通信というキーワードを軸として、幅広い分野の第一線で御活躍されている方々の仕事に対する思いや取組みを知ることができます。非常に良い特集に仕上がっていると思います。学生読者の皆様の仕事に関する視野が広がることを願います。
(小林崇春)

本企画を聞いたとき、読んでみたいと思ったのと同時に、果たして実現するのだろうかと思ったことを覚えています。多くの通信に携わる方々の御協力により、この魅力的な企画が現実となりました。本企画が学生をはじめ多くの方の一助になれば幸いです。
(芝 宏礼)

会誌の編集に携わらせて頂きました。御関係者の皆様にはいろいろと注文を付けてしまい、大変な御苦労をお掛けしました。この別冊特集は、通信の仕事に進むことを考えてる学生のためになるものだと思います。そのような学生を指導する大学教員として御礼申し上げます。
(川喜田佑介)

微力ながら本企画に携われ、また立派な特集に仕上がったこと大変うれしく思います。通信や放送などの伝送屋の仕事は地面の下に情報の土管を敷設するようなもの。地味で目立ちませんが今後ますます重要となる社会インフラです。まだまだ開拓しがいがありますよ。
(今村浩一郎)

本冊を手に取って下さりありがとうございます。本冊が学生の皆様にとって進路を考える際の材料の一つとしてお役に立てたら、そして、「通信の仕事」に興味を持って頂けるきっかけとなれたらうれしい限りです。著者の皆様、編集委員の皆様、事務局の皆様、御協力賜った全ての皆様に心から感謝申し上げます。
(斎藤 恵)

「通信の仕事」特集は編集チームがよくまとまり、別冊とすることになりました。自分が編集チームリーダーだった特集よりも記憶に残っています。私の貢献はほとんどありませんが、面白い内容になったと思います。通信業界の広さを感じつつ、就職活動中の学生にも是非読んでもらいたいと願う一冊です。
(菅原真司)

監修

津田 俊隆 田中 良明 菊間 一宏 宮村 崇
斎藤 恵 高橋 清隆 菅原 真司 岡本 英二

編集 チーム

津田 俊隆	田中 良明	菊間 一宏	宮村 崇	岡本 英二	斎藤 恵
菅原 真司	高橋 清隆	阿部 順一	井出 真司	今村浩一郎	大島 正資
大須賀 徹	岡田 啓	葛西 恵介	川喜田佑介	川西 直	熊谷 太一
小泉 健吾	小島 政明	小林 崇春	芝 宏礼	白戸 裕史	枚浦 維勝
高橋 英憲	東村 邦彦	豊田 雅宏	中川 拓哉	中台 光洋	西本 研悟
藤尾 俊輔	本間 寛明	牧 謙一郎	増野 淳	町澤 朗彦	八木 秀樹
山田 渉	四方 博之				